

That's

PRESS INFORMATION 2002.2.7

HONDA
The Power of Dreams

本田技研工業株式会社 広報部
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

企業広報 TEL(03)5412-1512/FAX(03)5412-1545

商品広報 TEL(03)5412-1514/FAX(03)5412-1515

URL <http://www.honda.co.jp/>



C o n t e n t s	
開発にあたって	2
テクノロジー・トピックス	7
エクステリア	9
インテリア	11
パッケージ	13
パフォーマンス	15
エコロジー	16
セーフティ	17
装備・諸元	18



繁 浩太郎(しげ こうたろう)
(株)本田技術研究所 主任研究員

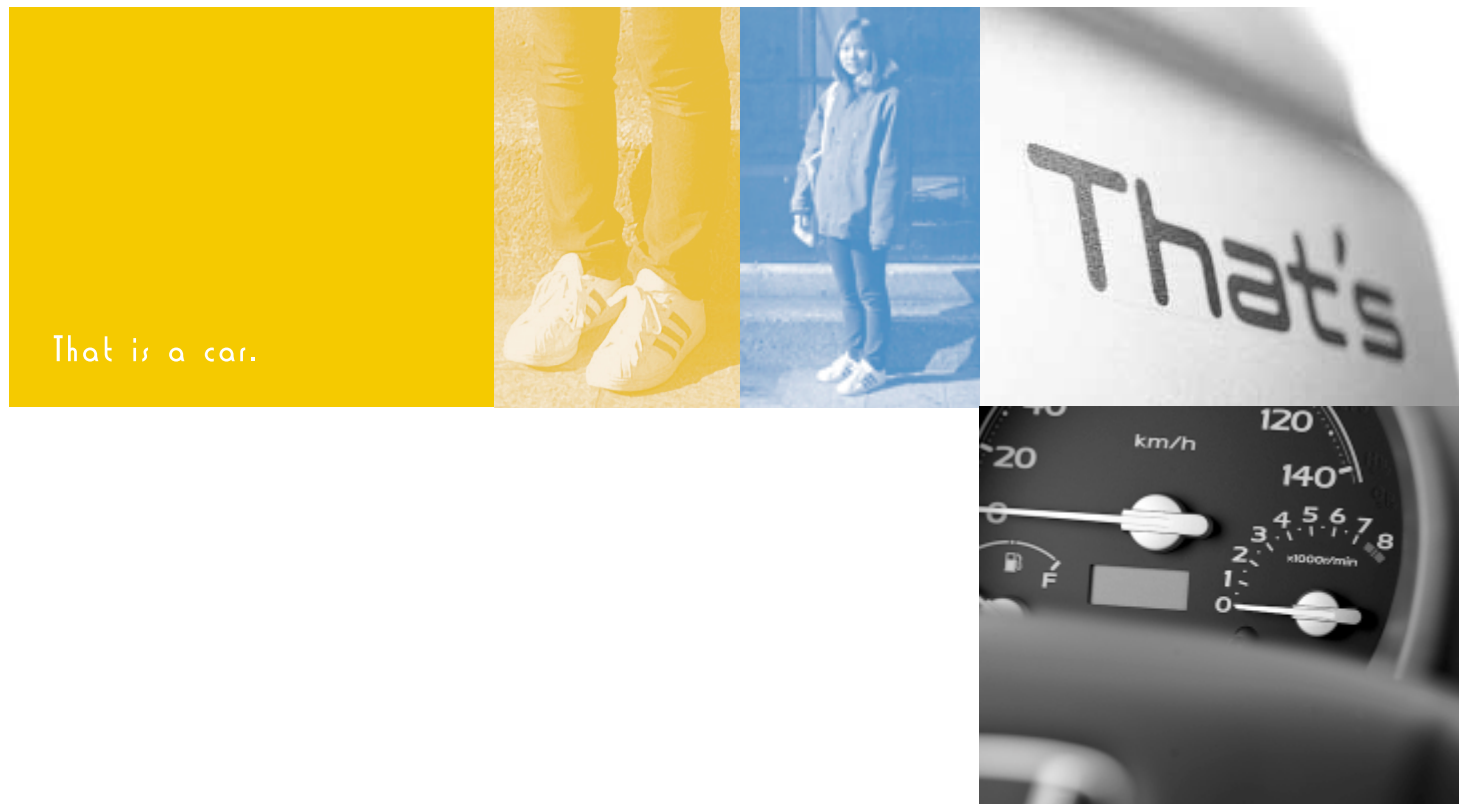
1979年、(株)本田技術研究所入社
艦装設計を経て、CR-Xデルソル、
ライフ等のLPLを担当。
今回「That's」のLPLを務める。
趣味はバンド活動(主にオールディーズ、
GSノパートはベース、ギター)。
愛車はCR-Xデルソル、MG-B。
オープン好きだが風邪をよくひく。

こんな「Honda」があってもいいのではないだろうか。

Hondaはつねに、新しいクルマを創造するとともに、
クルマのある生活の楽しさを提案しています。
そんななかで、私たちはこれまで、たとえばスポーツカーでは「走りそうな」、
マルチワゴンでは「広くて使いやすそうな」といった
クルマとしての機能や性能をそのまま感じさせるクルマづくりを行ってきました。
今回、新しいクルマを開発するにあたり、
私はこうした機能・性能を進化させながら、クルマを表現するカタチを
それらと切り離れた別の視点で発想してみてもはどうだろうかと考えました。
「個の時代」と言われて久しい現在、クルマをもっと気軽な存在として、
生活を形成する身のまわりのモノと同じような感覚で捉えてみても
いいのではないかと感じたのです。
使う人の生活スタイルに心地よく溶け込める、お気に入りアイテムのようなクルマ。
そんな、個人の観点で選んでいただけるようなクルマを創ろうと思いました。

「Personal “mono” Concept」という発想。

3



What is a car?

デザインやイメージでモノを選ぶこと、ありませんか？

私たちの生活まわりを見渡してみても、あらゆるモノが揃っている現在、オーディオなどの電化製品や椅子・テーブルといった家具などを選択する際に、

それら自身が醸し出す雰囲気やチョイスする人たちが

増えてきていると思います。そういったモノを身近に置くことで、きっとその人ならではの心地よい生活を過ごしているのでしょう。

私は、こうした人たちの価値基準に合ったクルマをめざしました。

どんなクルマかを機能・性能といったハードウェアからカタチにするのではなく、

使う人が気軽に使える心地よさかどうか、自分らしい生活に馴染むかどうか。

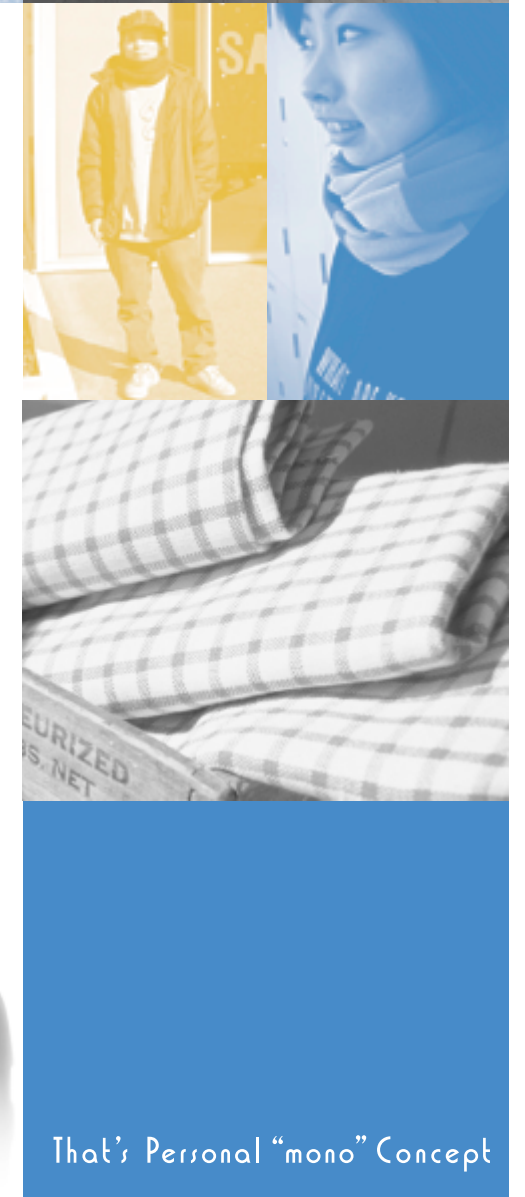
そんな「Personal “mono” Concept」というクルマづくりの発想です。

クルマを使う人のスタイルやセンスに合った、

「持ちモノとしての良さ」をカタチにしていく。

あくまでも“自分向き”であることにこだわりました。

4








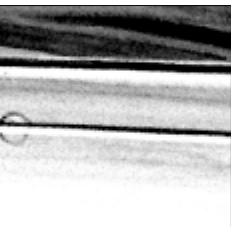

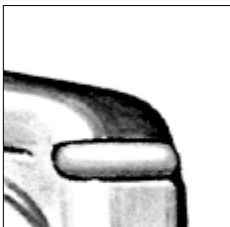

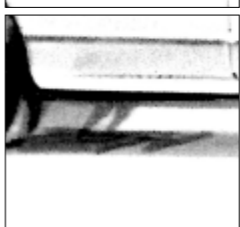
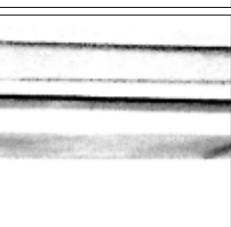


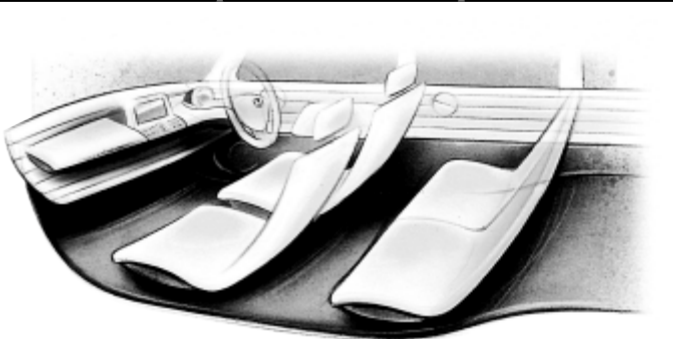


That's Personal “mono” Concept

気取らない。飾らない。さりげない。

小さなボディに何もかも付加させるのではなく、構成する要素をあえて少なく、シンプルに見せることで質感を強調させ、使う人のセンスを引き立たせる。私たちは、そんなカタチを大切にしました。「気取らない」ことで、つかれない。「飾らない」ことで、ホッとできる。「さりげない」ことで、安心できる。見て思わず触れてみたくなるような、乗ってしっかりと馴染むような心地よさを実感していただけるよう、止まっているときの佇まいにも心地よいカタチを求めました。[That's]。それは、気軽に気持ちよくつきあっていけるクルマです。

今回、開発の過程では、高い機能・性能を実現する難しさとともに、デザインがシンプルであるがためにごまかしの効かない難しさもありましたが、クルマの新しい楽しさ、可能性を改めて発見することができました。そして何より、自分らしい生活にこだわる人たちに、[That's]を感じていただければ、チャレンジのしがいがあったと思います。

Personal "mono" Style			気取らない, 飾らない, さりげないカタチ	
				
				
				
Personal "mono" Space			心地よくしっくり馴染む 自分のための空間	
				

That's Debut

ネーミングの由来: That's(ザッツ)・・・若い人たちの日常生活の中でお気に入りのモノを選ぶような感覚でクルマも選んでほしい。そんなクルマと人との新しいつきあい方の提案として「あれだっ。」と思わず言ってしまうような親しみを持てる存在のクルマになれば、という気持ちを込めました。

That's Technology

Exterior

気取らず、飾らず、さりげない、mono感覚のカタチ。
「シンプル」「力強さ」「遊びどころ」を表現した
“ラウンドスクエアデザイン”。

■さりげなさに徹底的にこだわった、Simple-hearted Style(=気取らないスタイル)。

- ・ワイド感とmono感を表現する、スリークヘッドライト。
 - ・力強さとソリッド感を強調する、フロントノーズ。
 - ・空間の広さや心地よさを感じさせる、サイドウィンドウ。
 - ・足まわりのしっかり感を演出する、ホイールアーチ。
 - ・シンプルな面構成のテールゲートと、形状や配置にこだわったリアコンビネーションランプ。
 - ・mono感覚に遊びどころを加えた、14タイプの豊富なカラーバリエーション(スタンダード7タイプ&ポップなツートーン7タイプ*)。
- ※メーカーオプション

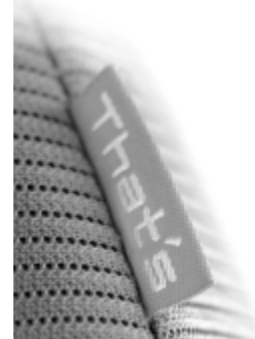


Interior

自分の時間を大切にしたいくつろぎのスペースを。
「シンプル」「使いやすさ」「スマート」を求めた、
機能的で居心地のよい空間。

■プライベートスペースをイメージしたインテリアデザイン。

- ・都会的空間をイメージした、シルバー&ブラックインテリア。
- ・部屋の壁として見立てた、ドアライニング。
- ・テーブルを表現した、デスクトップ・インパネ。
- ・遊びどころでデザインした、シフトレバー。
- ・デスクに置かれた感覚のセンターパネル&メーター。
- ・チェア感覚にこだわったシートデザイン&シートファブリック。
- ・遊びどころのワンポイント、シート・ネームタグ。



Package

乗って感じる、自分基準の心地よさ。
くつろぎと使いやすさの、ファーストカー・パッケージ。

■キャビンのルーフ四隅をドライバーからできるだけ遠ざけ、空間の「広さ感」を実現。

■機能的な椅子の心地よさを追求した、フロントシート。

■空間をさまざまな使い方に応じて変えられる、シートアレンジ。

■段差を最小限に抑えた、フラットで使いやすいラゲッジルーム。

■乗用車基準で検証し、さらに高効率化を追求した静粛性能。

■ラクに乗り降りできる、フラットフロアと高めの着座位置。



Performance

走って感じる、機敏でスムーズな行動力。
熟成を極めた、上質な走り。

■力強さ、低燃費、低排出ガス、静粛性能のすべてを高次元でバランスした、
ハイパフォーマンスエンジン。

- ・街中でストレスのない3気筒12バルブエンジン。(That's)
- ・スムーズで力強いハイレスポンスなターボエンジン。(That's TURBO)

■スムーズな走りとゆったりした乗り心地を追求したサスペンション。

■That's、That's TURBOともにリアルタイム4WDを設定。

■ハイレベルな衝突安全性能と軽量・高剛性を実現した、優れたボディ性能。

Ecology

高水準の環境性能。

■全タイプ「優-低排出ガス」認定を取得。

■平成22年燃費基準に適合。(That's/FF)

■クルマ全体でリサイクル可能率90%以上*を実現。

■鉛の使用量を96年レベルの1/3以下に削減。



Safety

世界最高水準をめざした衝突安全性能。

■「傷害値の低減」と「生存空間の確保」を高水準で両立するGコントロール技術。

■優れた衝突安全性能を達成した新エネルギー吸収構造。

■頭部や脚部に対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ。

■頭部衝撃保護インテリア。



気取らず、飾らず、さりげない、mono感覚のカタチ。 「シンプル」「力強さ」「遊びごころ」を表現した “ラウンドスクエアデザイン”。



構成要素をあえて少なくし、 質感を強調させたSimple-hearted Style(=気取らないスタイル)。

エクステリアデザインでめざしたのは、単なる移動手段としての道具ではなく、愛着を持ってつきあえる、mono感覚のカタチでした。そこで、Simple-hearted Styleをコンセプトに、機能的でありながらも「さりげなさ」に徹底的にこだわりました。重視したのは、飽きのこないスタイルであるために、極めて「シンプル」であること。安心して使えるために、「力強い」雰囲気を持たせること。そして、こだわりをさりげなく演出する「遊びごころ」があること。これらを具現化するために、ボディフォルムからヘッドライトやリアコンビネーションランプ、ドアミラーにいたる全体に「ラウンドスクエアデザイン(角を丸めた箱)」を採り入れ、mono感覚イメージを表現しています。

mono感覚に
遊びごころを加えた、
14タイプの豊富な
カラーバリエーション。



スタンダードカラー7タイプと、さらに、そのなかのサテンシルバー・メタリックをボディカラーベースに、バンパーなどのツートーンのコーディネートが楽しめる「ポップカラー・コンビネート」(メーカーオプション)を採用。7タイプの組み合わせが選べます。



Photo:That's (FF) オプション装着車

ワイド感とmono感を表現する、 スリークヘッドライト。

横長のヘッドライトをターンライトやポジションライトと一体化してまわり込ませ、ワイド感を強調。しかもグリルやエアインテーク開口を一本の帯としてレイアウトすることで、しっかり感を表現しています。また、ヘッドライトのリフレクターをブルーコートしてクリアレンズ越しに見せることで、アクリル風のスリーク(細い、流線形、つややか)な表情を持たせました。



力強さとソリッド感を強調する、 フロントノーズ。

フロントおよびサイドからも[That's]を特徴づけるノーズ。フロントまわりに大きな面と厚みを持たせることで、シンプルで気取らない親しみやすさを表現しています。しかも、ボンネットがしっかり見えて運転しやすい視界が得られるよう、高さや幅が感じ取れる厚さにしました。

空間の広さや心地よさを感じさせる、 サイドウィンドウ。

ガラスエリアをできるだけ長く見せ、伸びやかな空間を外からでも感じられるように、ウィンドウ自体を横長にし、そのうえでセンターピラーやドアサッシュをブラックで処理。フロントからリアクォーターウィンドウまで一体感のあるガラスエリアとしています。

シンプルでやさしい雰囲気を 重視した、サイドビュー。

「シンプル」をいちばんの狙いとしたサイド。あえて複雑な造形を避け、キャラクターラインも1本のストライプに見えるような控えめな処理にしました。

足まわりのしっかり感を演出する、 ホイールアーチ。

タイヤの同心円に近い形状で幅を広くとり、かつフラットにしました。ホイールアーチの存在感を際立たせることで、足腰の強さを演出しています。

デザインと機能を両立した、 リアクォーターウィンドウ。

リアクォーターウィンドウは横長のガラスエリアを印象づけるとともに、斜め後方視界を確保しています。



シンプルな面構成のテールゲートと、 形状や配置にこだわった リアコンビネーションランプ。

小さなボディサイズでリアコンビネーションランプやドアハンドルを大きくしすぎるとクルマが小さく見えてしまうため、ランプは被視認性を考慮しながらサイズやカタチを検証し、ラウンドスクエアデザインを踏襲したやさしくすっきりとした形状としました。これをシンプルな面構成のテールゲート両サイドにアクセサリー感覚でレイアウトすることで、正方形に近いリアビューにワイド感やしっかり感を持たせています。



自分の時間を大切にしたいくつろぎのスペースを。 「シンプル」「使いやすさ」「スマート」を求めた、 機能的で居心地のよい空間。

プライベートスペースをイメージした インテリアデザイン。

インテリアデザインでは、自分の時間をくつろいで過ごせるプライベートスペースのイメージを重視しました。それは、お気に入りの家具や小物に囲まれたワンルーム感覚の、運転する人を中心とした快適空間を創造することでした。センターパネルやメーターは機能を凝縮するなど、空間全体としてシンプルにこだわりました。また、単眼メーターをはじめドライバーの見やすさ使いやすさを徹底的に追求。さらに操作系は機能的にレイアウトするなどスマートで洗練された空間を創りあげています。



Photo: That's (FF) オプション装着車 カットボディによる撮影

都会的空間をイメージした、 シルバー&ブラックインテリア。

余計なものを置かないシンプルさと同時に、カラーにもこだわりました。シルバーとブラックを基調にしたクールなトーンを採用。シルバー調のテーブルと椅子が置かれたようなイメージを追求し、さらにインストルメントパネルをできるだけシンプルにブラックアウトさせることで、センターパネルやメーターのmono感を引き立てています。

部屋の壁として見立てた、 ドライニング。

通常はソフトなイメージを演出するドライニングにも、[That's]ならではのこだわりを施しました。部屋の壁をイメージし、あえて布を張るなどの加工をせず、素材感を活かしながら蛇腹やディンプルで表情を持たせてシンプルな面を実現。空間に馴染んだ自然な質感に仕上げています。

テーブルを表現した、 デスクトップ・インパネ。

インストルメントパネルはシンプルなテーブルをイメージし、シャープに仕上げました。しかも表面をメタリック塗装のディンプル形状とすることで、樹脂の素材感を活かしたクールなイメージを表現しています。



Photo: That's (FF) オプション装着車

遊びどころでデザインした、 シフトレバー。

直線や円、半円といった形状でデザインしたインストルメントパネルまわりにふさわしく、シフトレバーも直線的なスティックにボール形状のノブをあしらった、遊びどころのあるカタチにしています。

デスクに置かれた感覚の センターパネル&メーター。

センターパネルとメーターは、テーブルをイメージしたインストルメントパネルからは独立したmonoとして表現しました。

●センターパネル
パソコンをデザイン的な狙いにしたセンターパネル。特に上部に配置したオーディオは、デスクトップ感覚の見やすさや使いやすさを実現。また、ヒーターコントロールにスライドレバー式を採用したことでボリュームを抑え、下部にインパネアンダートレイを生み出しています。

●発光指針式メーター
シンプルで見やすく、しかも遊びどころを表現するために、ハイセンスな時計をイメージ。スピードメーター、タコメーターなどを洗練されたデザインで単眼に機能的に凝縮しました。しかも、発光指針の採用や、メーターカバーなどにシルバー塗装を施すなど、高品位な質感を与えています。

チェア感覚にこだわった、 シートデザイン&シートファブリック。

シート地には光沢感のあるスペースファブリックを採用。三次曲面の美しさを醸し出し、チェア感覚の心地よさを演出します。



遊びどころのワンポイント、 シート・ネームタグ。

4座席すべてにネームタグをあしらいました。[That's]のさりげないこだわりを表現しています。

乗って感じる、自分基準の心地よさ。 くつろぎと使いやすさの、 “ファーストカー・パッケージ”。

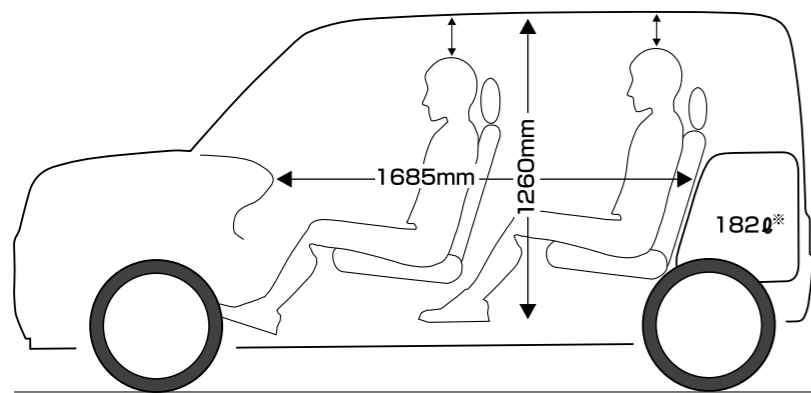
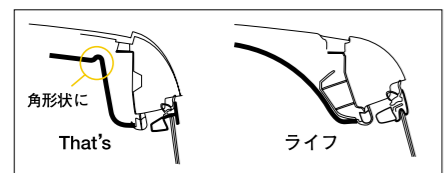
数値ではなく「感じる広さ」を追求した、 自分のための心地よい空間。

ドライバー本人が「自分のための空間」と感じられるよう、パッケージにおいてはドライバーを中心に据えた「広さ感」を最も重視しました。実寸上の広さはもちろん、それ以上に広く感じられること。そのために、頭まわりの広さを追求しました。ドライバーからキャビンのルーフ四隅を可能な限り遠ざけ、スタイリングやボディ剛性を検証しながら前後左右のウィンドウをぎりぎりまで立たせることで頭まわりの広々としたゆとりを実現。ルーフ前端・後端までのドライバーからの距離は従来の軽を大きく

超える長さを達成しています。しかも、ルーフライニングとインテリアリムを結ぶ部分を、通常は円弧状のなだらかな面にするのに対し、あえて角をつくり、境を明確にしてさらに広がりを生み出すと同時に、「部屋感覚」を演出しています。

数値でもトップレベルを実現した 広々キャビン。

[That's]は、「広さ感」とともに数値としての広さも追求しました。十分な広さを持つライフと比較しても、室内長で+25mm、室内幅で+15mmを達成し、トップレベルの広さを実現。室内高では+5mmに加え、大きなルーフによってよりゆとりのあるヘッドクリアランスを確保しています。



*数値はVDA方式によるHonda測定値

機能的な椅子の心地よさを追求した、 フロントシート。

プライベートなくつろぎ感を表現するために、専用薄型フレームに、セパレートシートを採用し、フィット感やホールド性を追求。体を包み込むような落ち着いた座り心地を実現しています。しかも、シートバックのフレームに曲げ構造を採用した新開発の

専用薄型フレームにより、リア席のニークリアランスにゆとりを持たせています。



空間をさまざまな使い方に 応じて変えられる、 シートアレンジ。



①フロントフルフラットシート/
9段リクライニング・リアシート



②5:5分割可倒式リアシートを
片側フルフォールダウン



③5:5分割可倒式リアシートを
両側フルフォールダウン

①はフロントシートのヘッドレスト、②③はリアシートピローを外す必要があります。

段差を最小限に抑えた、フラットで 使いやすいラゲッジルーム。

シートアレンジを活用すれば、より大きなスペースをつくることのできるラゲッジルーム。リアシートをフォールダウンした際に生じるフロアとの段差を最小限にし、フラットで安定した積載を可能にしました。日常の使用や遊びのシーンまで、さまざまに使いこなせます。

フルオープンできる リアウィンドウ。

リアウィンドウは下端までガラスが降りるフルオープンタイプを採用。全開で風を取り込みます。

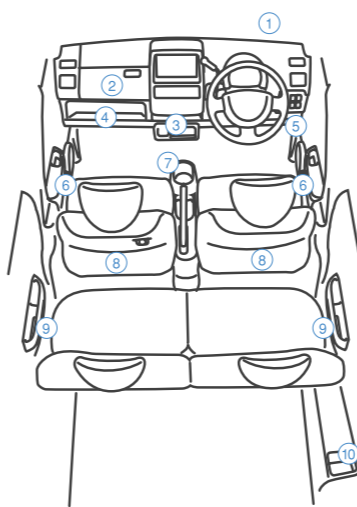


楽しく心地よい、 主な快適装備。

- AM/FMチューナー付CDプレーヤー
(時計機能付)+フロント2スピーカー
- 電波式キーレスエントリーシステム
(アンサーバック/ウエルカムランプ機能付)
- 全席パワーウィンドウ
(運転席挟み込み防止機構付)
- ボディ同色電動リモコンドアミラー

便利で使いやすい、 収納スペース。

- ①チケット&カードホルダー(運転席側サンバイザー)
- ②グローブボックス
- ③インパネアンダートレイ(センター)
- ④インパネアンダートレイ(助手席側)
- ⑤ドライバーズポケット
- ⑥フロントドアポケット(運転席側/助手席側)
- ⑦フロントカップホルダー(リバーシブルトレイ付)
- ⑧シートバックポケット(運転席/助手席)
- ⑨リアドアポケット(左右席側)
- ⑩ラゲッジルームサイドポケット



乗用車基準で検証し、 さらに高効率化を追求した静粛性能。

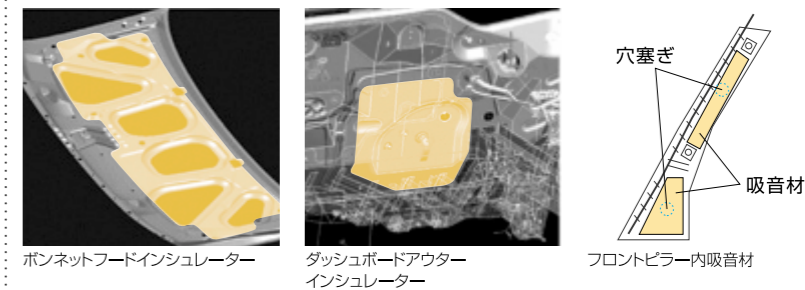
Hondaは従来より、ライフをはじめ軽自動車においても乗用車で構築した社内評価基準で静粛性を検証し、優れた性能を実現しています。[That's]はライフ同様、まずはエンジン、エンジンマウント、ボディ、シャシーそれぞれの基本性能が高く、そのうえで遮音材や吸音材を適所に配置していますが、[That's]では車両重量とのバランスが大きな課題となったため、さらなる高効率化を追求しています。

●アイドリング振動・こもり音の低減
ステアリングハンガービームの取り付け点を最適化し、軽量化と高剛性化を実現。また、テールゲートについてはヒンジ取り付け部剛性とアウターパネル剛性を高めることで、低周波音の低減効果を高めています。

●加速エンジン音の低減
ダッシュボードアウターインシュレーターを採用したことで、キャビン側、エンジン側に遮音材を配したサンドイッチ構造とし、さらにボンネットフードインシュレーターも採用。高い遮音効果を実現しました。また、フロントピラー内部に吸音材を採用し、静粛性を高めています。

●エンジン振動の低減
エンジンマウントシステムには、エンジンサイドマウントとミッションマウントをサイドフレームに、エンジンリアマウントをサブフレームに取り付ける3点マウントとし、エンジンサイドには液封マウントを採用。しかも、エンジンサイドマウントとミッションマウントを結ぶ軸を慣性主軸近くに設定することで、振動を最小限に抑えています。また、ターボエンジンには、フロントストッパーを採用しました。

●発進時ステアリング振動の低減
FF車の発進時においてエンジンと排気システムの共振から発生しがちなステアリング振動を抑えるために、エキゾーストパイプにダイナミックダンパーを採用。エキゾーストパイプの前後振動を吸収するように取り付け、ステアリングへの振動を抑制しています。



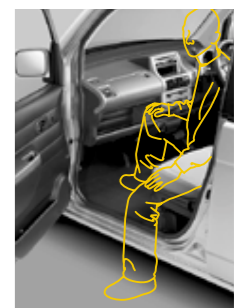
全方位にわたって確保した、 優れた運転視界。

視界の確保は、空間の心地よさとともに安全の面からも重要といえます。[That's]は、ボディの全周にわたって1mのポールで運転席からの見え方を検証。さらに、リアクォーターウィンドウを採用するなどによって、全方位での優れた視界を実現しています。



ラクに乗り降りできる、 フラットフロアと 高めの着座位置。

高い全高、大きく開くドア、高めに設定したシートの着座位置に加え、フロアとドア開口下端の段差を少なくしたことで、スムーズでラクな乗り降りを実現しました。



走って感じる、機敏でスムーズな行動力。 熟成を極めた、上質な走り。

力強さ、低燃費、低排出ガス、静粛性能のすべてを高次元でバランスした、ハイパフォーマンスエンジン。

街中でストレスのない優れた加速性能を発揮する、3気筒12バルブエンジン。(That's)

エンジンの基本性能そのものを徹底的に熟成し、常用回転域での優れたトルク特性を持たせることで、NA(自然吸気)エンジンでありながらも出足から力強い加速性能を実現しています。

スムーズな立ち上がりでさらに力強い走りが楽しめる、ハイレスポンスなターボエンジン。(That's TURBO)

ターボチャージャーにHonda独自のセラミックボールベアリングを採用。ターボタービンの立ち上がりが速く、約2,200回転という低回転から過給圧をコントロールするため、踏み込んだ瞬間から過給するような、スムーズなレスポンスを実現。自然で力強い加速性能と、心地よいターボフィールが得られます。

クラストップレベルの低燃費と低排出ガスを実現した、高水準の環境性能。

燃焼の高効率化やフリクションの低減など、細部にわたるエンジン技術を積み重ねることで、AT車でありながら10・15モード走行(国土交通省審査値)で19.0km/ℓ(That's/FF)と、17.0km/ℓ(That's TURBO/FF)という低燃費を実現。エアコンの使用や渋滞などを想定した実用燃費(Honda測定値)でも、よりハイレベルな燃費性能を達成しています。また、浄化性能に優れた排気システムの採用などにより、全タイプ「優-低排出ガス」認定のクリーン性能も獲得しています。



That's TURBO

走りの質を高める、Hondaならではのエンジン静粛性能。

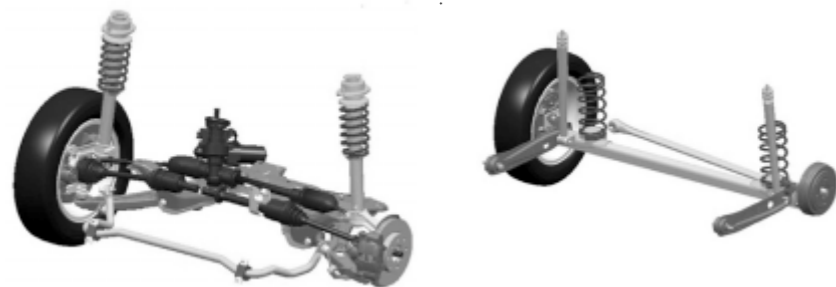
エンジンの静粛性能が顕著に現れる動弁系に着目し、バルブリフトとタイミングの最適化を徹底的に追求。走り、燃費、静粛性能を高次元でバランスさせたカムプロフィールを実現しています。



スムーズな走りとゆったりした乗り心地を追求したサスペンション。

フロントサスペンションは、軽量・コンパクトでスペース効率に優れたマクファーソン・ストラット式を採用。スタビライザーを大径化して高いロール剛性を実現しています。リアは、ロール

変化に対する安定感の高いトーション・ビーム式3リンクリジッド式(FF)としています。また、フロント・リアとも、ダンパーの減衰力を最適化し、優れた乗り心地を実現しています。



That's、That's TURBOともにリアルタイム4WDを設定。

通常走行時はほぼFF状態で走行し、発進・加速時など前輪が滑りやすい状態になると後輪へも瞬時に駆動力を配分し、4WDで走行。雪道や悪路でも頼もしい走りを発揮します。

優れた操舵フィールが得られ、低燃費にも貢献するEPS(電動パワーステアリング)を標準装備。

EBD(電子制御制動力配分システム)付ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)＋ブレーキアシストを採用。(That's TURBOに標準装備、That'sにメーカーオプション)

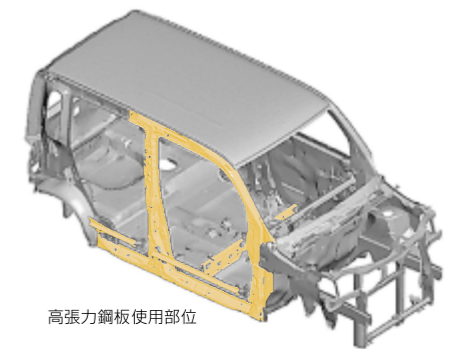
ハイレベルな衝突安全性能と軽量・高剛性を両立した、優れたボディ性能。

[That's]はボディ構造の高効率化を徹底的に追求しました。低燃費実現のためにライフよりも大きな空間を確保しながら同等の車両重量を実現し、しかもねじり剛性で28%の向上を達成。さらに優れた衝突安全性能も確保しています。

●大型断面ピラーの採用
フロントピラー、センターピラーの断面を大型化し、高剛性とともにより優れた衝突安全性能を実現。ボディ後部は外観デザインや視界の向上にも効果的なクォーターピラー＋リアピラーの構成にすることで断面二次モーメントを大幅に高めました。

●高効率な結合による軽量・高剛性化
ドア開口まわりにはスティフナー額縁構造を採用。さらにリアまわりでは、剛性寄与率の高い部分は板厚をより厚く、低い部分は薄くするといった配分を施し、軽量・高剛性化を図っています。

●高張力鋼板の積極採用
軽量で強度を確保するために効果的な高張力鋼板をキャビン周辺に採用。しかもフロントピラーなどには成形性に優れたタイプの高張力鋼板を使用し、複雑な形状と高強度を両立しています。



高張力鋼板使用部位

シンプルな美しさを表現するために、面一感にこだわった高品質ボディ。

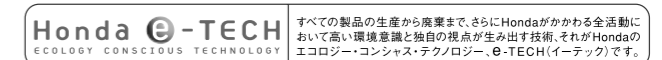
ボディデザインでシンプルな魅力を表現するためには、面一感、いわゆるフラッシュサーフェス化がとても重要となります。そこで、あらゆる部分のチリ幅(ボディパネルや開口部の隙間)をできる限り小さくし、面を連続して見せることに徹底して気を配りました。ボディ構造の高剛性化などにより、すべての

部位のチリ幅を小さく設計。極めて高品質なボディを実現しました。また、ドアハンドルやテールゲートハンドルが外側にでないよう、ハンドル部にケースを採用することで手入れスペースを確保し、面一感のあるすっきりとしたドアハンドルに仕上げています。

フォルムからは想像を超える、優れた空力性能。

四角く見えるボディフォルムであっても、シンプルな面構成と角を丸めたラウンドスクエアデザインなどによって、優れたCdA(前面投影面積)値を達成。ライフを凌ぐ空力性能を実現し、低燃費に貢献しています。

高水準の環境性能



すべての製品の生産から廃棄まで、さらにHondaがかかわる全活動において高い環境意識と独自の視点が生み出す技術、それがHondaのエコロジー・コンシャス・テクノロジー、e-TECH(イーテック)です。

全タイプ「優-低排出ガス」認定を取得。

エンジンの高効率な燃焼や排気システムにより、排出ガスをクリーン化。全タイプで平成12年排出ガス規制に適合しただけでなく、HCとNOxは規制値の50%以下にまで低減し、国土交通省「優-低排出ガス」認定を全タイプで取得しています。



「優-低排出ガス」認定車表示マーク
平成12年排出ガス規制のHC、NOxについて、規制値を50%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

平成22年燃費基準に適合。(That's/FF)

熟成された高効率な燃焼技術により、低燃費を実現。19.0km/ℓ*を達成しています。

*That's FF/10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)

クルマ全体でリサイクル可能率90%以上*を実現。

インテリアのインジェクション成形部品のほとんどにリサイクル性に優れたオレフィン系樹脂材を使用。また樹脂パーツへの識別記号の表示など、リサイクル可能率をクルマ全体で90%以上としました。*Honda独自の算出基準による

鉛の使用量を96年レベルの1/3以下に削減。

ラジエーター・ヒーターコアをアルミ製にし、クランクシャフト、燃料タンク、ガラスセラミックペイントなどを、鉛を使用しない材料に換えることで、鉛の使用量を96年レベルの1/3以下に削減しました。

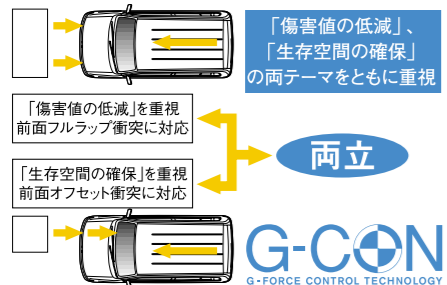
■経済産業省「リサイクルイニシアチブ」による業界目標は、2005年末までに96年レベルの1/3以下を目指すものです。

小さなボディで、大きな安心を。 乗る人はもちろん、歩行者にも配慮した 世界最高水準をめざした衝突安全性能。

「傷害値の低減」と 「生存空間の確保」を高水準で 両立する、Honda独自の Gコントロール技術。

Hondaは衝突安全において、乗員に対する「傷害値の低減」が課題となる前面フルラップ衝突と、「生存空間の確保」が課題となる前面オフセット衝突の双方を高水準でクリアすることをめざし、独自のGコントロール技術で対応。[That's]は、前面フルラップ衝突55km/h、前面オフセット衝突64km/h、側面55km/h、後面50km/hの衝突に対応する新・衝突安全設計ボディを実現しています。

Gコントロール技術



優れた衝突安全性能を達成した 新エネルギー吸収構造。

前面からの衝突に対しては、サイドフレームとフロントフロアフレームの間にスティフナーを追加し、サイドフレーム後端の結合効率を向上することで離れや変形を防ぎ、衝突エネルギーをまっすぐにしっかりと受け止める構造としました。また、フロントピラーやルーフレールは断面形状を大きくし、さらに結合剛性を高めたことでフロントピラーの変形を防ぎ、キャビンへの影響を最小限に抑制。ダッシュボードドア部を高張力鋼板で補強することで、ブレーキペダルの進入量をさらに減少させています。一方、側面衝突に対してはセンターピラーの断面を大きくして強度を高め、さらにスティフナーを厚板化することで高効率な衝撃吸収性能を実現。これらにより、[That's]は優れた衝突安全性能を実現しています。



頭部衝撃保護インテリア

室内のルーフサイドや各ピラー内部に衝撃吸収材を内蔵。衝突時に乗員の頭部への衝撃を緩和します。

主な安全装備

- 運転席用&助手席用SRSエアバッグシステムを標準装備
- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナー-ELRシートベルトを標準装備
- EBD（電子制御制動力配分システム）付ABS+ブレーキアシストをThat's TURBOに標準装備、That'sにメーカーオプション
- ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バー（リア左右席）を標準装備

頭部や脚部に対する衝撃吸収構造を採用した、 歩行者傷害軽減ボディ。

歩行者衝突時の傷害軽減をめざした、歩行者傷害軽減ボディ。ダメージを最も受けやすい頭部はもちろん、脚部にも対応できるように傷害軽減部位を拡大し、適所に衝撃吸収構造を採用しています。

- 衝撃吸収ワイパーピボット
ピボット軸（旋回軸）を変形しやすい構造とし、衝突時に衝撃を吸収。
- 衝撃吸収ボンネット
エンジンなどとボンネットフードの間に空間を確保した構造とし、衝撃を吸収。
- ボンネットヒンジ折れ構造
ボンネットの取り付けヒンジ部を変形しやすい構造とし、衝突時に衝撃を吸収。
- 脚部衝撃保護構造
ヘッドライトステイをはじめ車体先端付近の部材をできるだけ小さくし、脚部への影響を低減。
- 衝撃吸収フェンダー
フェンダーステイを変形しやすい構造とし、衝撃吸収性能を向上。



主要装備

	That's		That's TURBO		その他の標準装備
	FF	4WD	FF	4WD	
安全 装 備	● は標準装備 ○ はメーカーオプション（ご注文時にお申し付けください。）				シートベルト締め忘れ警告灯（運転席） チャイルドブルーフ 室内難燃材 ミスト機構付間欠フロントワイパー サイドデフロスター ドアビーム
	● 運転席用&助手席用SRSエアバッグシステム				
	● EBD（電子制御制動力配分システム）付ABS+ブレーキアシスト				
	● フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナー-ELRシートベルト				
	● リア3点式ELR/ALR（チャイルドシート固定機構）シートベルト				
	● ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バー（リア左右席）				
快 適 装 備	● 熱線式リアウインドウデフォグガー				EPS（電動パワーステアリング） フューエルリッドオープナー テールゲートインナーハンドル 燃料残量警告灯 イグニッションキー抜き忘れ警告ブザー ライト消し忘れ警告ブザー ATポジションインジケーター
	● リアワイパー（ウォッシュャー付）				
	● オートエアコンディショナー				
	● マニュアルエアコンディショナー				
	● AM/FMチューナー付CDプレーヤー（時計機能付）+フロント2スピーカー				
	● AM/FMチューナー付MDプレーヤー&インダッシュ				
	● 6連奏CDチェンジャー（時計機能付）+ハイグレード4スピーカー				
	● 電波式キーレスエントリーシステム（アンサーバック/ウエルカムランプ機能付）				
	● 全面高熱線吸収UVカットガラス				
	● プライバシーガラス（リアドア/リアクォーター/テールゲート）				
	● 全席パワーウインドウ（運転席挟み込み防止機構付）				
イ ン テ リ ア	● パワードアロック（テールゲート連動）				液晶ツイントリップメーター シガーライター フロントドアポケット（運転席側/助手席側） リアドアポケット グローブボックス ドライバーズポケット インパネアンダートレイ 灰皿（フロント） チケット&カードホルダー （運転席側サンバイザー） ラゲッジルームサイドポケット グラブレール（フロント助手席側/リア） インテリアランプ
	● ボディ同色電動格納式リモコンドアミラー				
	● ボディ同色電動リモコンドアミラー				
	● 昼夜切換え式ルームミラー				
	● フロントフルフラットシート				
	● 5:5分割可倒式リアシート（9段リクライニング/フルフォールダウン機構付）				
	● 発光指針式メーター				
	● タコメーター				
	● 運転席パワーウインドウスイッチ照明				
	● クロームメッキ・インナードアハンドル				
エ ク ス テ リ ア	● 大型フットレスト				ボディ同色フロント/リアバンパー エキバイフィニッシャー ポップカラー・コンポーネント （専用色フロント/リアバンパー、専用色サイドシルガーニッシュ、 専用色ドアハンドル/テールゲートアウターハンドル、専用色That'sデカール）
	● 運転席シートバックポケット（ファスナー式インナーポケット付）				
	● 助手席シートバックポケット				
	● フロントカップホルダー（リバーシブルトレイ付）				
	● コンビニフック				
	● 運転席側バニティミラー付サンバイザー				
足 ま わ り	● 助手席側バニティミラー付サンバイザー				● (大径タイプ)
	● ボディ同色ドアハンドル/テールゲートアウターハンドル				
	● エキバイフィニッシャー				
	● ポップカラー・コンポーネント				
	● 専用色フロント/リアバンパー、専用色サイドシルガーニッシュ、 専用色ドアハンドル/テールゲートアウターハンドル、専用色That'sデカール				
フロント/リア		フロント	フロント/リア	フロント	● (パンチレーテッド)
スタビライザー		145/80R12 74S	155/65R13 73S		
スチールラジアルタイヤ		●*4		●*4	
フルホイールキャップ		●*5		○	
13インチアルミホイール（13×4.00B）		●		●	
フロントディスクブレーキ		●		●	

パッケージオプション内容

- Aパッケージ*1** ○ オートエアコンディショナー ○ ボディ同色電動格納式リモコンドアミラー
○ 昼夜切換え式ルームミラー ○ 運転席側バニティミラー付サンバイザー
- ポップカラー・コンポーネント*3** ○ 専用色フロント/リアバンパー ○ 専用色サイドシルガーニッシュ
○ 専用色ドアハンドル/テールゲートアウターハンドル ○ 専用色That'sデカール

*1 「Aパッケージ」は「プライバシーガラス」とのセット装着となります。 *2 オーディオレス設定も可能です。その場合フロント2スピーカーは装着されません。 *3 ベースカラーはサテンシルバー・メタリック。 *4 That'sとThat's TURBOではデザインが異なります。
*5 スチールラジアルタイヤは13インチタイヤ（155/65R13 73S）となります。
■ メーカーオプションは組み合わせによっては同時装着できない場合がございます。また一部セット装着になる場合がございます。
■ 本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主要諸元

	That's		That's TURBO	
	FF	4WD	FF	4WD
	660 HYPER 12-VALVE		INTERCOOLER TURBO	
車名・型式	ホンダ・LA-JD1	ホンダ・LA-JD2	ホンダ・LA-JD1	ホンダ・LA-JD2
トランスミッション	3速オートマチック			
寸法・重量・乗車定員	全長(m)/全幅(m)/全高(m)			
	3,395/1,475/1,620			
	ホイールベース(m)			
	2,360			
	トレッド(m) 前/後			
	1,305/1,295			
	最低地上高(m)			
	0,155			
	820	880	860	920
	ABS装着車	830	890	—
	13インチタイヤ装着車	830	890	—
	ABS+13インチタイヤ装着車	830	890	—
乗車定員(名)	4			
客室内寸法(m)	長さ/幅/高さ			
	1,685/1,225/1,260			
エンジン	エンジン型式			
	E07Z			
	エンジン種類・シリンダー数及び配置			
	水冷直列3気筒横置			
	弁機構			
	SOHC ベルト駆動 吸気2 排気2			
	総排気量(cm ³)			
	656			
	内径×行程(mm)			
	66.0×64.0			
	10.5		8.5	
	燃料供給装置形式			
	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)			
	使用燃料種類			
	無鉛ガソリン			
	燃料タンク容量(ℓ)			
	31			
性能	最高出力(kW[PS]/rpm)*			
	38[52]/7,200		47[64]/6,000	
	最大トルク(N・m[kg・m]/rpm)*			
	61[6.2]/4,500		93[9.5]/4,000	
	19.0 ★ (18.0 ★)	16.4	17.0	16.0
	燃料消費率(km/ℓ)10・15モード走行(国土交通省審査値)			
	電動パワーステアリング			
	主要燃費向上対策			
	電動パワーステアリング			
	最小回転半径(m)			
	4.5			
動力伝達・走行装置	変速比			
	1速	2.888		2.631
	2速	1.515		1.441
	3速	0.930		0.844
	後退		2.047	
	減速比		5.312	
	前			3.272
	後	—	3.272	—
	ステアリング装置形式			
	ラック・ピニオン式			
	タイヤ(前・後)			
	145/80R12 74S (155/65R13 73S)		155/65R13 73S	
	主ブレーキの種類・形式			
	前	油圧式ディスク		
	後	油圧式リーディング・トレーリング		
	サスペンション方式			
	前	マクファーソン式		
	後	車軸式	ド・ディオン式	車軸式
	ド・ディオン式			ド・ディオン式
	スタビライザー形式			
	前	トーション・バー式		
	後	トーション・バー式		—

〈 〉内はABS装着車または13インチタイヤ(155/65R13 73S)装着車。 ()内は13インチタイヤ装着車。

■*はネット値です。「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。

■新単位として、出力は「PS」から「kW」に、トルクは「kg・m」から「N・m」に切り替わっています。

■燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なってきますので、それに応じて燃料消費率が異なります。

★印の数値の車両はグリーン税制(低燃費・低公害車の普及促進優遇税制)の対象となります。

■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■That's、G-CON、HYPER、PGM-FIは本田技研工業株式会社の登録商標です。■製造事業者:本田技研工業株式会社

三面図 That's 単位:mm

